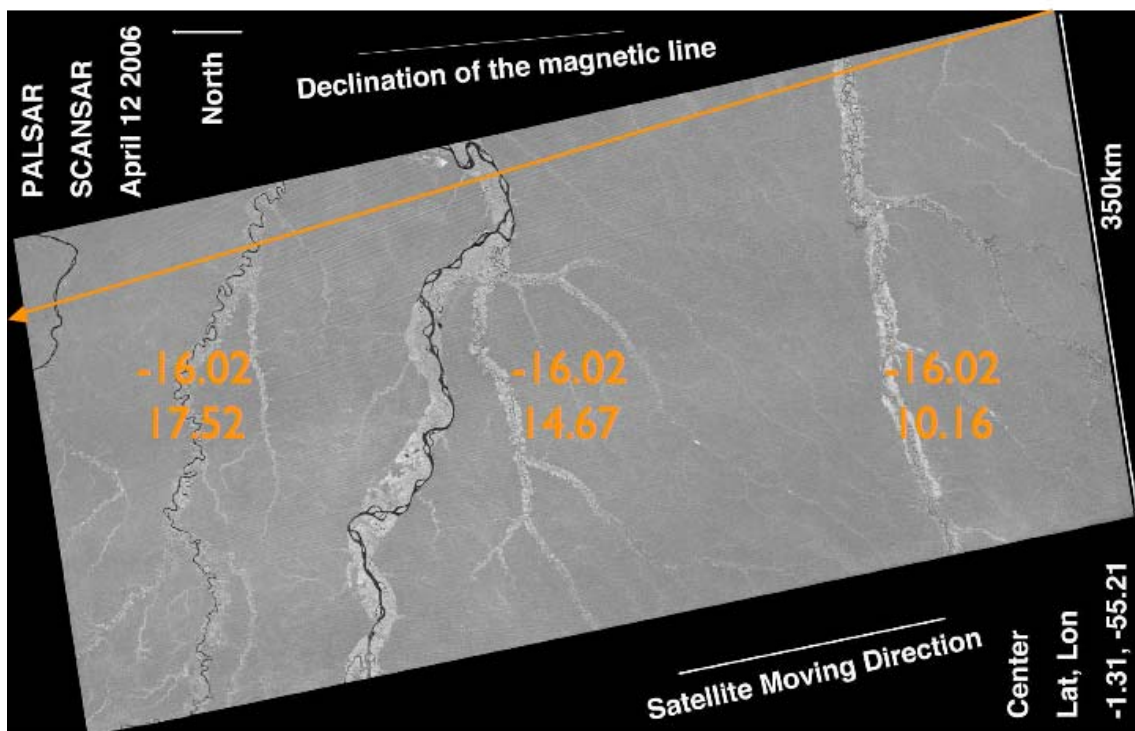


PALSAR と電離層異常について
PALSAR and Ionospheric disturbances

島田政信

宇宙航空研究開発機構、地球観測研究センター、305-8505、茨城県つくば市千現2-1-1、電話：029-868-2474、ファックス：029-868-2961、shimada.masanobu@jaxa.jp

概要：ALOS PALSAR の干渉機能は非常に高く、地殻変動解析に大きな威力を発揮している。しかし、運用開始以来、電離層の影響と思われる縞状の雑音が振幅画像及び干渉画像内に現れてきており、その状況と原因の把握が重要になってきた。本発表では現在までに、主として振幅画像に現れた縞状雑音の発生頻度を紹介する。図1は、衛星打ち上げ後に最初に発見された縞画像であり、最大で数百キロに及ぶ。この原因としては、磁気赤道近くで日没後4時間くらいに多発する、電離層異常に起因するものと思われる。特に振幅画像の異常は赤道近くに集中するが、位相の異常は限定されず、中緯度地方でも発生する。



First PALSAR image detected the scintillation

Fig. 1 PALSAR で最初に観測された縞画像